

子どもたちに笑顔

アダムスさん 琉大病院を訪問

読んで
温かい
NIE

道化師の装いをして
病床にある人々をユー
モアで励ます活動を世界各
地で行っている米国人
医師パッチ・
アダムスさんが19日、西原
町の琉球大学医学部付属
病院小児病棟を訪れた。
アダムスさんは、各病室
で楽器や風船を使ったパフ
オーマンスを披露。入院中



赤鼻を鳴らして、子どもと触れ合うパッチ・アダムスさん。19日、西原町の琉球大学医学部付属病院

で楽器や風船を使ったパフオーマンスを披露。入院中
座談会も行った。

子どもたちや家族は笑顔
を浮かべた。
音が出る赤鼻を着けて色
鮮やかな格好をしたアダム
スさん。時折見せるおどけ
た表情で、患者だけでなく
病院職員ら周囲の笑い
も誘った。アダムスさんと
交流した亀島美妃さん(8)
は「大きくなってびっくりし
た。赤い鼻をブーブー鳴ら
すのが面白かった」と笑顔
で話した。
同病院小児科医師の
宮本二郎さんは「入院中
の子どもたちや家族は普
段、窮屈な思いをしてい
るので、笑いを与えてくれ
てありがたい」と話した。
アダムスさんは同日、与那
原町の沖繩リハビリテー
ション福祉学院の学生と